

第2学年 生活科学習指導案

1 単元名 「つくって あそんで たのしいな」

2 単元とその指導について

本単元は、学習指導要領の内容(6)「自然や物を使った遊び」の学習で、自然や身近にある物を使って工夫して遊ぶもの作ったり、遊び方を工夫したりして、みんなで遊びを楽しむことができるようにすることをねらいとしている。また、友だちと一緒に楽しく遊ぶために遊び方を工夫したり、約束やルールを作ったりして、友達とよりよいかかわることができるようになることを目指している。

本学級の児童は、工作など作ることに對する関心が高く、図画工作の時間は、創造的な発想や技能を生かしながら、意欲的に活動に取り組んでいる。また、学校だけでなく家庭でも工作を楽しんでいる児童も多い。児童全員を対象にしたアンケート調査で、次のような回答が得られた。「工作(何かを作ることは好きですか。）」という質問に對して、全員が「すごくそう思う」もしくは、「そう思う」と答えている。また、「自然や家にある材料でおもちゃや遊ぶものを作ったことがありますか。」という質問に對して、ほぼ全員の児童が「ある」と答えている。さらに、「はい」と回答した児童への質問「どんなことが楽しかったですか。」に對して、「遊んだことが楽しかった。」「また作りたい。」などの情意的な面に関する回答が大半を占めていた。しかし、自分で工夫して遊ぶ物を作ったり、友達とかかわりながら遊び方やルールを工夫したりしてみんなで遊んだ経験は少ないと考えられる。

指導に当たっては、児童が、家庭で簡単に手に入れることができる物を材料として、おもちゃ作りの活動を展開していく。単元の導入では、身近にある物で作ったシンプルな手作りおもちゃで遊ぶ場を設定する。その活動の中で素材と十分に触れ合うことによって、身近にある物の「おもちゃの材料・遊びの素材・道具」としての特性や魅力、友達と一緒に遊ぶ楽しさを十分に味わわせたい。友達と味わったその楽しさを、活動を意欲的に継続していく原動力にするとともに、「身近にある物を使っておもちゃを作り、みんなで楽しく遊ぶ」という単元のめあてに結びつけたい。

本時の展開では、児童がおもちゃづくりを振り返り、次時に向けてめあてをもつことができるよう、次のような指導・支援を行う。第1に、児童が、試行錯誤をしながら工夫をしたことに着目しておもちゃづくりを振り返ることができるよう、学習内容のねらいに迫る上で大切にしたい活動を意識させる授業展開を行う。第2は、振り返ったことを音声や文字で表現する際の言語材料として、材料や道具の名称、作業に関する言葉を提示する。

このような指導・支援を行うことによって、児童の気付きの質は高まり、振り返ったことを基に次時のおもちゃづくりに向けて、自分なりのめあてをもつことができると考える。

3 単元の目標

身近にある物を使って、工夫して遊ぶものを作ったり遊び方を工夫したりして、みんなで遊びを楽しむことができる。

4 評価規準

	ア 生活への関心・意欲・態度	イ 活動や体験についての思考・表現	ウ 身近な環境や自分についての気付き
単元の評価規準	身近にある物に目を向け、楽しく遊ぼうとしている。	身近にある物を使って遊びを工夫し、みんなで楽しむとともにそれを表現できる。	身近にある物を使って遊べることや、みんなで遊ぶと楽しいことに気付いている。
単元における具体的な評価規準	物と一体になり、夢中になって遊ぼうとしている。 身近にある物に関心をもち、楽しい遊びを考えたり材料をそろえたりして、遊ぶものを作ろうとしている。 友達と一緒に楽しく遊ぼうとしている。	身近にある物を使って、遊びを楽しくする物を作ったり、遊びを工夫したりすることができる。 競い合ったり力を合わせたりして、友達と一緒に遊ぶことができる。 工夫して作ったりみんなで遊んだりしたことや楽しかったことなどを表現することができる。	身近にある物を使って遊ぶ楽しさに気付いている。 身近にある物を使って、工夫して遊ぶ物を作ったり遊んだりする楽しさに気付いている。 遊びを通して友達のよさや自分との違いなどに気付いている。

5 単元及び評価計画（全13時間）

	主な学習活動・時配()	評価規準・評価方法【 】	教師の支援
一次	身近にある物や手作りおもちゃで遊ぶ。(2)	ア - 【行動・発言・学習カード】	身近にある物を使った簡単な遊びを教えたり一緒に遊んだりする。
二次	自分が持ってきた材料で、工夫しておもちゃを作ったり遊んだりする。(2)	ア - 【行動・発言・学習カード】 イ - 【行動・発言】	友達が作っているおもちゃや教師が作ったおもちゃを参考にさせ、材料の使い方や特性、面白さに目を向けさせる。材料に触れさせ、対話をしたり絵で表現させたりしながら作りたいおもちゃのイメージを具体化させる。
	おもちゃづくりについて振り返ったことを友だちと交流し、次の活動でしたいことを考える。(1)	ウ - 【学習カード】	対話をしながら材料や道具、作業に関する言葉を振り返らせ、気付きを言葉に置き換えさせる。

三 次	おもちゃや遊びがもっと楽しくなるように工夫する(2) 本時	イ - 【行動・発言】	同じような作業やおもちゃを作っている児童を参考にさせたり、面白さの要素に関する視点(難しさ, 点数, 時間制限, 回数制限など)を与えたりする。
	おもちゃづくりについて振り返ったことを友達と交流し, 次の活動でどんな工夫をしたいか考える。(1) 本時	ウ - 【発言・学習カード】	おもちゃのよく工夫できている部分を称賛し, 対話をしたりおもちゃ作りに関する言葉を振り返らせたりしながら, 気付きを言葉に置き換えさせる。
	友達と交流し合ったことを生かして, おもちゃや遊びがもっと楽しくなるような工夫をする。(2)	イ - 【行動・発言】	同じような作業やおもちゃ作りをしている児童を参考にさせたり, 面白さの要素に関する視点を与えたりする。
4 次	おもちゃの広告を作る。(1)	イ - 【発言・学習カード】	前時の活動で, 友達からほめてもらったことを振り返らせたり, 一緒におもちゃで遊んだりしながら, 児童のおもちゃの楽しさや面白さを伝える。
	みんなで一緒に遊び, これまでの活動を振り返る。(2)	ア - 【行動・発言】 ウ - 【学習カード】	友達が作ったおもちゃの広告を見ながら遊び方を説明し, 遊びたいおもちゃを選ばせる。 活動を通して分かったこと, できるようになったこと, これからしてみたいこと等の視点で振り返らせる。

8 本時の学習(6~8/13)

(1) 本時の目標

身近にある物の特徴を生かして, おもちゃの作り方や遊び方を工夫することができる。

【思考・表現】

工夫しておもちゃを作ったり遊んだりする楽しさや工夫によっておもちゃが楽しいものになっていることに気付いている。

【気付き】

(2) 展開

学習活動	教師の指導・支援及び評価()
1 前時の学習カードで, この時間にしたいことと本時の学習のめあてを確認する。	前時に児童が決めた活動のめあて「このじかんにしたいこと」と本時の学習のめあてをつなぐために, 前時に児童が書いた学習カードの内容を紹介する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> いろいろな くふうをして, もっと おもしろくて 楽しい おもちゃを 作ろう! </div>	

ざいりょう・どうぐをつかって

- ・作って ・あそんで
- ・ためして ・考えて
- ・見て ・きいて
- ・話し合っ て ・力を合わせて

【おもちゃ作りで大切にしたい活動】

2 おもちゃづくりをする。

友達とおもちゃで遊びながら、
友達のおもちゃのよく工夫でき
ているところや遊び方・ルール
の楽しいところや面白いところ
を、応援メッセージとして伝え
合う。

3 おもちゃづくりを振り返る。

工夫について振り返ったことを
学習カードに記入する。

材料の写真

名称

はさみ
のり
ボンドなど

おもちゃ作りの工夫について2つの視点を意識させる
ために、黒板に貼った学習のめあての中から、工夫の
視点を取り出し、黒板に貼る。

作り方おもちゃ自体の作り方の工夫
あそび方遊び方やルールの工夫

児童と対話をしながら「おもちゃ作りで大切にしたい
活動」に関する言葉を提示する。

評価 --- 楽しいおもちゃ・遊びにするために作り方や
遊び方・ルールを工夫することができる。

【思考・表現】

支援 --- 同じような作業やおもちゃを作っている児童を
参考にさせたり、面白さの要素に関する視点(難
しさ、点数、時間制限、回数制限など)を与え
たりする。

友達の工夫のよさについて具体的に伝えることができ
るよう、次の2つの視点を提示する。

- ・楽しい工夫だと思ふところ
- ・もっと楽しいおもちゃにできそうなアイデア

おもちゃづくりの過程に着目して振り返りができるよ
うに「おもちゃ作りで大切にしたい活動」に関する言
葉を児童と一緒に確かめる。また、デジタルカメラで
撮影した活動中の児童の様子やおもちゃの画像をテレ
ビで見せる。

学習カードに記入する際の言語材料として、「材料の名
称」「道具の名称や作業」に関する言葉を提示する。

- ・材料(写真と名称)
「牛乳パック」「ガムテープ」
- ・道具・作業に関する言葉
「あなをあける」「きる」「はりつける」等
- ・例文
「～したら、～ました。」
「～なルールにしたら、とても楽しくなりました。」

<p>4 振り返ったことや発表し合ったことを基に，次の活動のめあてを考える。</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>評価 --- 工夫しておもちゃを作ったり遊んだりする楽しさに気付いている。 【気付き】</p> <p>支援 --- おもちゃのよく工夫できている部分を称賛し、対話しながらおもちゃ作りに関する言葉を振り返らせ、気付きを言葉に置き換えさせる。</p> </div> <p>次の活動に必要な物や手に入れる方法についても見通しをもせる。</p> <p>児童が自分で手に入れることが難しい材料や道具については，教師に相談させたり，帰りの会などで呼びかけさせたりする。</p>
--	---